

教育現場のニーズに応える支援方策を探る

－訪問研修を通じた支援より－

教職研修センター 専門研修課

本所が過去3年間に実施してきた訪問研修を検証した上で、本年度取り組んだ訪問研修のうち、新学習指導要領に即した支援、継続的な支援、情報教育に関する支援を取り上げ、それぞれの支援について行った事例の成果と課題の分析を行い、教育現場のニーズに応える訪問研修の在り方を考察する。

訪問研修の概要

表1 内容別訪問実績総数

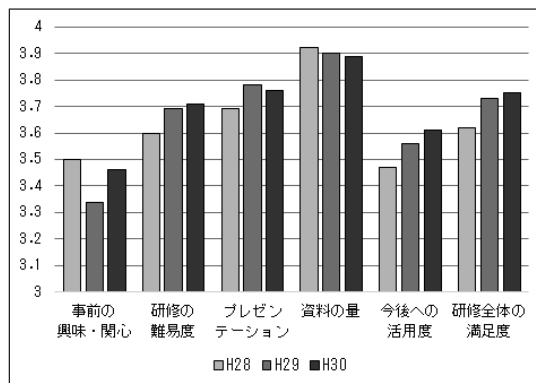
	H28	H29	H30
教科指導	320	193	212
学校改善	73	32	13
情報教育	34	34	87
教育相談等	363	548	447
学力調査	22	14	33
合計	812	821	792

H27
アンケート
調査開始

H29
教育相談センター
学校サポートチーム
学校支援開始

※H30は1月末現在

表2 アンケート結果



- ・教育相談等の増加
 - ← 社会環境変化に伴う教育相談ニーズの増大・多様化
- ・情報教育件数の増加
 - ← 遠隔授業・研修システム利用促進のための積極的 school 訪問
- ・学校改善件数の減少と学力調査の増加
 - ← 抽象的なALから具体的な授業づくりへのニーズの変化

- ・「研修の難易度」が年々向上
 - ← 受講者目線の研修
- ・「全体の満足度」が年々向上
 - ← ニーズに合わせた研修
- ・「今後への活用度」が年々向上
 - ← 実践的な研修

本年度の訪問研修から

新学習指導要領に即した支援例(書写・書道)

研修内の教師同士の対話から、互いに「潜在ニーズを引き出す」しかけのある研修

- 1) 新学習指導要領に沿った研修
 - 実技指導に加えて、「授業づくり」のニーズを先取りした研修
 - 書写の「見方・考え方」を働かせた学びを参加者に体感してもらう研修
- 2) 各学校の実践を共有する研修スタイル
 - グループ協議で情報共有を行い、参加者同士でニーズを引き出し合い、解決策を探る研修

継続的な支援例(音楽)

- 1) 学級づくり(ピア・サポート)を取り入れた支援
 - 合唱コンクールを通じ、音楽の授業づくりと学級づくりを融合させたいというニーズに対応
- 2) 「主体的・対話的で深い学び」に関する支援
 - 次回訪問までに教師側が準備すべきことと本所が支援することの綿密な協議による、ニーズの整理と確実な支援のスパイラル

綿密な打合せで「潜在ニーズを引き出し」、教師が支援前には予想しなかった学びや成長へ

「潜在ニーズの引き出し」の視点から

潜在ニーズ：マーケティング用語で、顧客が自覚していないニーズのこと。本所の支援においても教育現場の潜在ニーズの引き出しとそれに合わせた支援が重要。

情報教育に関する支援例

- 1) タブレットPC活用の支援
 - ICT環境に応じた演習プログラムを作成して現場のニーズに対応
- 2) 遠隔授業・研修システム操作の支援
 - ・ 海外との交流活動に対するニーズに対応
 - ・ 操作に対する不安を払拭するための積極的な学校訪問

先進的な機器やアプリの演習での学びが「潜在ニーズを引き出す」研修

システムへの理解促進による「潜在ニーズの引き出し」

<今後に向けて> これまで以上に現場の潜在ニーズを引き出し、応えられる支援方策を探っていく。

科学的な見方・考え方を磨く実験・観察の実践

－課題解決力や探究力を育てる理科教育をめざして－

教科研究センター 理科教育課

理科教育課の研究

実験、観察を通して科学的な見方、考え方を磨くため、実験、講座の開発、改良

具体的な取組み

- ・遠隔授業・研修システムを利用した理科実験配信
- ・生徒に対する理科の実験、研究支援
- ・福井県の理科教員のスキルアップ支援

理科実験配信

双方向通信の魅力を生かした配信内容の開発
◎本年度は、小学校への配信を開始

(1) 開発した実験のコンテンツ例

- ・小5 「流れる水のはたらき」
- ・小6 「変わり続ける大地」
- ・中1 「塩素の性質」
- ・中2 「心音図、心電図」
- ・中3 「酸、アルカリとイオン」
- ・高校生物基礎 「光合成と光」
- ・高2 「ミトコンドリアの観察」

(2) 配信実績

小学校58校、中学校24校、高等学校27校のべ109校に配信

	坂井地区	福井地区	奥越地区	鯖丹地区	嶺南地区	県立国立	合計
小学校	16	24	0	1	17	0	58
中学校	16	8	0	0	0	0	24
高校	3	6	0	18	0	—	27

生徒に対する理科の実験、研究支援

科学的な思考力を高めるための高度な実験講座の開発・改良

(1) アドバンス実験講座（生徒向け実験講座）

対象 高校生

内容 各分野における発展的テーマでの実験

【開発した講座】

物理 「ループコースターの当て」

「力学的エネルギー保存の法則」

化学 「陽イオンの定性分析」

「中和滴定」

生物 「酵母菌の呼吸を科学する」

「フィンガープリンティング」

(2) 東大・京大の研究者に学ぶ実験講座

① 東大講座

対象 中高生

内容 缶サットの講義と実習

改良点：センサーなどの電子機器を利用したミッションの導入

② 京大講座

対象 高校生

内容 iPS細胞に関する実験教室

改良点：iPS細胞についての討論の充実

理科教員研修

理科の授業における実験のあり方を考える研修

(1) 特別研究員による高校物理教員研修

「科学的なものの見方・考え方を育てる

理科の授業のために」

講師 川角 博 特別研究員

(NHK高校講座物理基礎講師)

(2) 東京学芸大学高度理科教員支援センターと連携した高度な内容の高校化学・地学教員研修

成果

- ・授業への支援に、授業担当者の意向に沿った教材の開発提供やゲストティーチャーとして実験配信を活用
- ・アドバンス実験講座における課題解決的な学びや探究活動の体験による探究意欲の向上
- ・東大・京大の研究者による実験・実習講座を受講した中学生や高校生の探究意欲の向上
- ・高校物理教員研修に、教員研修者による、新学習指導要領に基づいた授業実践までの情報共有の場を提供

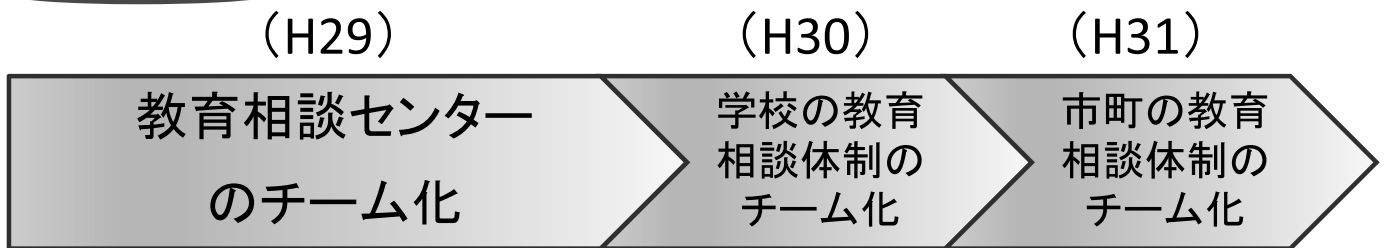
平成31年度に向けた課題

- ・実験配信において、打ち合わせ等の授業担当者への負担軽減と、実験の提供のための情報収集や教材研究
- ・生徒実験講座において、目的を明確にした導入の工夫および探究的な活動の展開等、講座設計の見直し
- ・県内の教員への支援として、実験重視の授業展開に向けた教材の研究と開発

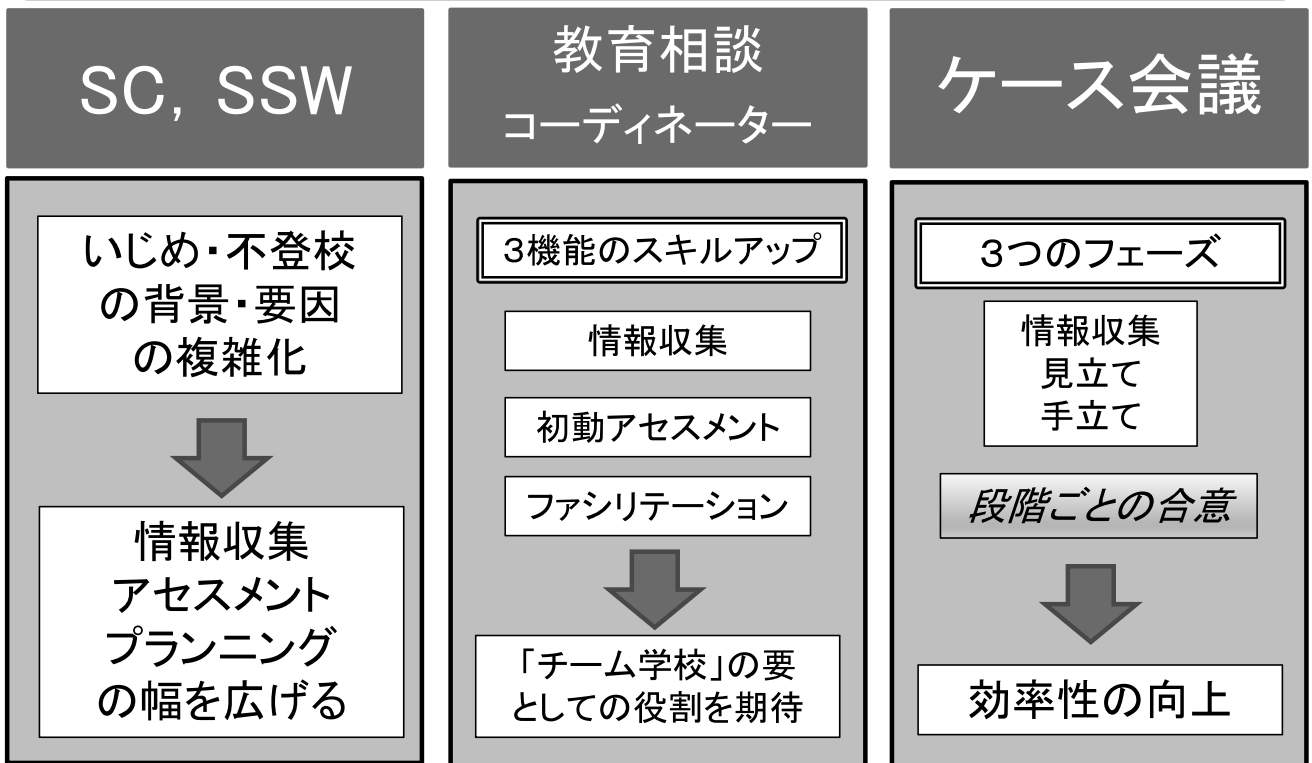
専門家の協働によるチーム支援の在り方（Ⅱ）

教育相談センター 教育相談課

研究ユニットの3か年計画



学校サポートチーム(教員・心理・福祉)の設置



学校危機に対応するための緊急支援

チームによる情報管理のルール

学校サポートプログラム活用事例集（Ⅱ）

—小学校における ソーシャルスキル・中学校における ピア・サポート・
地域全体で取り組む ポジティブ教育の実践 —

教育相談センター 教育相談課

研究協力校における課題に応じた「学校サポートプログラム」の活用事例
—より効果的な学校支援、教師支援を目指して—

2年研究
1年目

「学校サポートプログラム」

〔 ソーシャルスキルを柱とした「小学校版学級経営プログラム」
ピア・サポートプログラムを柱とした「中学校版学級経営プログラム」

小学校

研究協力校での取組み

- ① 授業実践
- ② 朝活動でのソーシャルスキルトレーニング
- ③ 現職教育

養護教諭を通じた取組み

- ④ 養護教諭を通じた広がり
- ⑤ 学校保健委員会

中学校

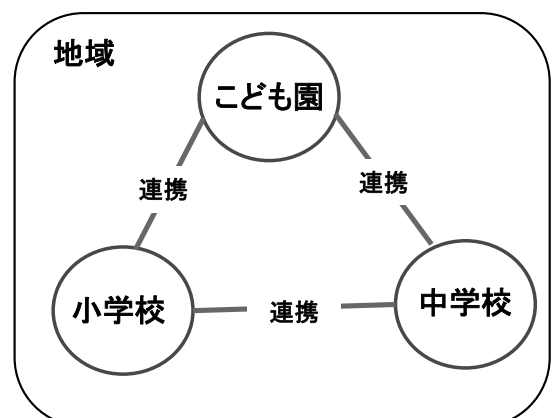
- ① 現職教育
- ② カリキュラム・マネジメント
- ③ ピア・サポートトレーニング
- ④ 学校行事と関連させたピア・サポート活動
- ⑤ 保健指導
- ⑥ 後期指導主事訪問における共同参観授業
- ⑦ 自尊感情の向上を目的とした取組み

研究協力地域における「持続可能な幸せを育む学校づくり」の実践研究
—福井県版ポジティブ教育プログラム作成に向けて—

3年研究
1年目

地域全体

- ① 幼小中合同研究会推進委員会
- ② 幼小中合同研究会
〔 ポジティブ教育研修会 中学校指導主事訪問
ピア・サポート研修会 小学校研究授業
こども園研究授業・教育講演会 〕
- ③ 学校保健委員会〈小学校〉
- ④ レジリエンス教育の実践
- ⑤ 小学校後期指導主事訪問 道徳共同参観授業



次年度の方向性

- ・ カリキュラム・マネジメントを進める。
- ・ 効果的な現職教育を計画的に行う。
- ・ 所員のさらなる力量向上に努める。

また来たい、と思える博物館に

—教育博物館 2年目の挑戦—

教育博物館

教育博物館の運営(これまでの取り組み)

○資料の調査・研究・保管

- ・未調査の鯖江市・越前市の学校調査
- ・廃校・休園となった学校からの寄贈寄託資料
- ・資料の研究と展示への反映
 - ◇日下部太郎に関する研究
 - ※特集展示に反映
- ・教科書の充実
 - ※購入・寄贈等で13,000点を保管
 - 配列の改善とデータベース充実

○常設展示の更新

- ・収集資料や企画展の成果を反映
 - ◇巫鈴体操に関する資料の常設化
 - ◇複製の作成による展示資料の充実
 - ※「触れて見る」資料
 - ◇寄贈資料からの貴重資料発見

○特別な展示とイベントによる教育活動

- ◇テーマを設けた展示の工夫
- ・企画・特集展示
 - ◇「幕末明治福井の教育～藩校の教育改革～」
 - ◇「福井地震と学校～福井震災と向き合う昔・今」
 - ◇「幕末明治福井の教育～近代教育のはじまり～」
- ◇天皇皇后両陛下のご視察
- ・イベント運営
 - ◇開館1周年記念「コカリナコンサート」
 - ◇「～懐かしの唱歌と童謡～リードオルガンで歌う会を歌おう with コカリナ」
 - ◇「16mm 映画上映会」
 - ◇「謎解きクイズラリー」
 - ◇「小学生英語体験」
 - ◇冬休み工作体験「モザイクタイル」
 - ◇館内掲示の工夫

利用者からの希望・意見の集約・反映

○来館者の反応(アンケートの実施)

満足度調査(5段階評価=5:満足 4:やや満足 3:普通 2:やや不満 1:不満)

展示室 A:4.6 B:4.4 C:4.6 D:4.8 E:4.7 全体:4.6 (アンケート回答総数1,323)

→昨年より改善も、感想・要望にある意見を参考に、更に展示内容の充実化に努める

○運営委員会の開催

学識経験者、近隣小中学校長、利用者代表、類似施設職員、マスコミ関係者による構成
→利用者の立場に立った視点から利用促進についての助言を頂き、改善に努める

今後に向けて

○知名度の向上と展示の充実

イベントや特別な展示等で積極的なPRにつとめ、展示の質を高めることで、訪れるたびに新しい発見がある博物館を目指す